

ポーランドを代表するショパン国際ピアノ・コンクールの公式オーケストラと、
人気実力を兼ね備えた気鋭のピアニスト反田恭平が贈るスペシャルプログラム!



©Richard de Stoutz

ワルシャワ国立 フィルハーモニー管弦楽団

The Warsaw Philharmonic Orchestra

音楽監督・指揮:

アンドレイ・ボレイコ

ANDREY BOREYKO

ピアノ:

反田恭平

KYOHEI SORITA

《プログラム》

♪ショパン／ピアノ協奏曲 第1番

♪ドボルザーク／交響曲第9番「新世界より」 (ほか)

※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

2019
11月1日 **金**

開場18:30 開演19:00

入場料 (全席指定・税込) ※未就学児入場不可

S席:12,000円 A席:9,000円 学生:4,500円

富士市文化会館 **ロゼシアター 大ホール**

(富士市夢原町1750番地)

チケット発売日

7月11日(木)10:00～ Web

※窓口販売は7月12日(金)10:00～

チケット取扱い

●ロゼシアター ホームページ(<http://rose-theatre.jp>)

●ロゼシアター 窓口(営業時間9:00～20:00)

●ロゼシアター モバイルサイト

●ローソンチケット 0570-084-004 (Lコード:45216/自動音声24時間受付)

0570-000-407 (演劇・クラシック専用予約、オペレーター対応/10:00～20:00)

◎お問い合わせ ロゼシアター/0545-60-2500(9:00～22:00)

※車椅子席は、ロゼシアターへお問い合わせください。

※臨時バス運行のご案内/公演終了後、直通バスの運行を行います。ロゼシアター→新富士駅(20円)→富士駅(250円)

※ロゼシアター駐車場の収容台数には限りがございます。公演日・開演間際は大変混雑し、駐車できず開演に間に合わないことがあります。

なるべく乗り合わせてお越しになるか、公共交通機関のご利用をお願いいたします。また、周辺店舗等への無断駐車は大変迷惑となりますのでご注意ください。

主催:公益財団法人富士市文化振興財団

後援:K-mix



アンドレイ・ボレイコ (音楽監督・指揮)

Andrey Boreyko

アーティスト・ネイブルズの音楽監督に就任して5シーズン目を迎えたアンドレイ・ボレイコはその卓越したリーダーシップでネイブルズ・フィルハーモニックの芸術性を高めただけでなく、楽団に新しい強さをもたらした。ボレイコは、芸術面での成長を続けるこの学際的な組織の推進力となり、ファジル・サイヤギヤ・カンチェリに管弦楽曲を含む新作や、ガブリエル・プロコフィエフにヴァイオリンと管弦楽のための幻想曲を委嘱している。2019-20年シーズンには、新たにワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団の音楽・芸術監督に就任することが決まっている。

2018-19年シーズンは、世界中の主要オーケストラの人気客演指揮者として、スカラ座フィルハーモニー管弦楽団での客演に始まり、ベルリン放送交響楽団、ウィーン楽友協会にてウィーン放送交響楽団、フランクフルト・ムゼウム協会、エルブフィルハーモニーにてハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、ザルツブルク祝祭大劇場にてザルツブルク・モーツァルテウム管に登場予定の他、シドニー交響楽団及びソウル・フィルハーモニー管弦楽団への再訪も決まっている。前シーズンの欧州でのハイライトは、ウィーン交響楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ロンドン交響楽団他に客演。北米では、ニューヨーク・フィルハーモニー管弦楽団やシカゴ交響楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニックに登場。今シーズンには、サン・フランシスコ、ミネソタ、そしてトロント交響楽団への客演が予定されている。

2012年よりベルギー国立管弦楽団の音楽監督を5年間全力で務めあげ、国内外での楽団の活動の幅を広げることに貢献した。

ボレイコは、ドイツ音楽出版協会より最も革新的なプログラム構成をした者に与えられる“ベスト・コンサート・プログラム・オブ・ザ・シーズン”を3シーズン連続で受賞している。



©Archiv Kunstler

反田恭平 (ピアノ)

Kyohei Sorita

2012年 高校在学中に、第81回日本音楽コンクール第1位入賞。併せて聴衆賞を受賞。

2014年チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院に首席で入学。

2015年イタリアで行われている「チッタ・ディ・カントゥ国際ピアノ協奏曲コンクール」古典派部門で優勝。年末には「ロシア国際音楽祭」にてマリンスキー劇場デビューを果たす。

2016年のデビュー・リサイタルは、サントリーホール2000席が完売し、圧倒的な演奏で観客を惹きつけた。また8月の3夜連続コンサートですべて違うプログラムで行い追加公演も含み、新人ながら3,000人を超える動員を実現する。デビューから4年、今もっともコンサートチケットがとれないピアニストになっている。またコンサートのみならず「題名のない音楽会」「情熱大陸」等メディアでも多数取り上げられるなど、勢いのあるピアニストとして注目されている。

現在、ショパン音楽大学(旧ワルシャワ音楽院)にてピョートル・パレンチニに師事。

また、TVアニメ「ピアノの森」に阿字野壮介のメインピアニストとして参加している。

CD:「リスト」、「ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 & パガニーニの主題による狂詩曲」、「月の光」、「悲愴/月光/熱情」

「ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番/ピアノ・ソナタ第2番」

2017年「第27回出光音楽賞」受賞、CDショップ大賞「クラシック賞」受賞。

オフィシャルHP <http://soritakyohiei.com/>



ワルシャワ国立 フィルハーモニー管弦楽団

The Warsaw Philharmonic Orchestra

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団は、1901年11月5日、新しく建設されたフィルハーモニー・ホールで、同楽団にとって最初となる演奏会を行った。この旗揚げコンサートは、同楽団の初代音楽監督で首席指揮者のエミル・ムイナルスキが指揮し、世界的に有名なピアニストで作曲家、後には政治家となった、イグナツィ・ヤン・パデレフスキがソリストとして出演した。

ポーランドで最も代表的なオーケストラで、首都ワルシャワを本拠地として活動。創立当時から高い評価を受け、グリーグ、クレンペラー、プロコフィエフ、ラフマニノフ、ラヴェル、R.シュトラウス、ストラヴィンスキー、アラウ、ホロヴィッツ、ケンプ、ルービンシュタイン、サラサーテなど一流の音楽家たちが客演した。

1950年音楽監督兼首席指揮者にヴィトルド・ロヴィツキが就任、飛躍的な発展を遂げ、世界でも第一級のオーケストラに成長した。1955年2月21日には、第二次世界大戦中に爆撃で破壊されたホール跡地に新しいフィルハーモニー・ホールが再建され、この日、ワルシャワ・フィルは、「国立フィルハーモニー」の称号を授与された。

同楽団は、パンドレツキやシマノフスキの作品などの録音により、権威あるレコード賞を受賞している。2013年のグラミー賞受賞の他、同賞には6回ノミネートされている。

また、ショパン国際ピアノ・コンクール創設当初から、本選でファイナリストたちの伴奏を担当している。



©Wiktor Zdrojewski